

4. 母子保健における歯科保健対策について

資料4-4

【乳幼児歯科健診】

◆1歳6か月健診受診結果（う歯状況）

	受診者数	う歯のある児	う歯数(本)				う歯罹患率(%)	
			総数	(再掲)未処置歯数	(再掲)処置歯数	一人あたり	市	県
H24	1,324	14	36	36	0	0.03	1.06	1.32
H25	1,308	21	49	40	9	0.04	1.61	1.53
H26	1,359	29	79	70	9	0.06	2.13	1.55
H27	1,288	18	46	45	1	0.04	1.4	1.2
H28	1,339	9	27	25	2	0.02	0.7	-

◆2歳6か月健診受診結果（う歯状況）

・H23.6月から2歳6か月健診を開始。

	受診者数	う歯のある児	う歯数(本)				う歯罹患率(%)
			総数	(再掲)未処置歯数	(再掲)処置歯数	一人あたり	
H24	1,246	106	306	267	39	0.25	8.51
H25	1,282	107	301	256	45	0.23	8.35
H26	1,351	100	281	251	30	0.21	7.4
H27	1,435	108	312	267	45	0.22	7.53
H28	1,302	96	263	242	21	0.2	7.37

◆3歳6か月健診受診結果（う歯状況）

	受診者数	う歯のない児	う歯のない児の割合		う歯のある人	う歯数(本)				う歯罹患率(%)		
			市	県		総数	(再掲)未処置歯数	(再掲)処置歯数	一人あたり		市	県
									市	県		
H24	1,203	978	81.2	80.1	225	947	757	190	0.8	0.7	18.7	21.2
H25	1,224	992	81.0	81.4	232	841	673	168	0.7	0.7	19	19.2
H26	1,334	1,095	82.0	82.2	239	772	610	162	0.6	0.6	17.9	17.9
H27	1,328	1,062	79.9	80.5	266	841	610	231	0.6	0.7	20.0	19.5
H28	1,390	1,154	83.0	-	236	769	591	178	0.6	-	17.0	-

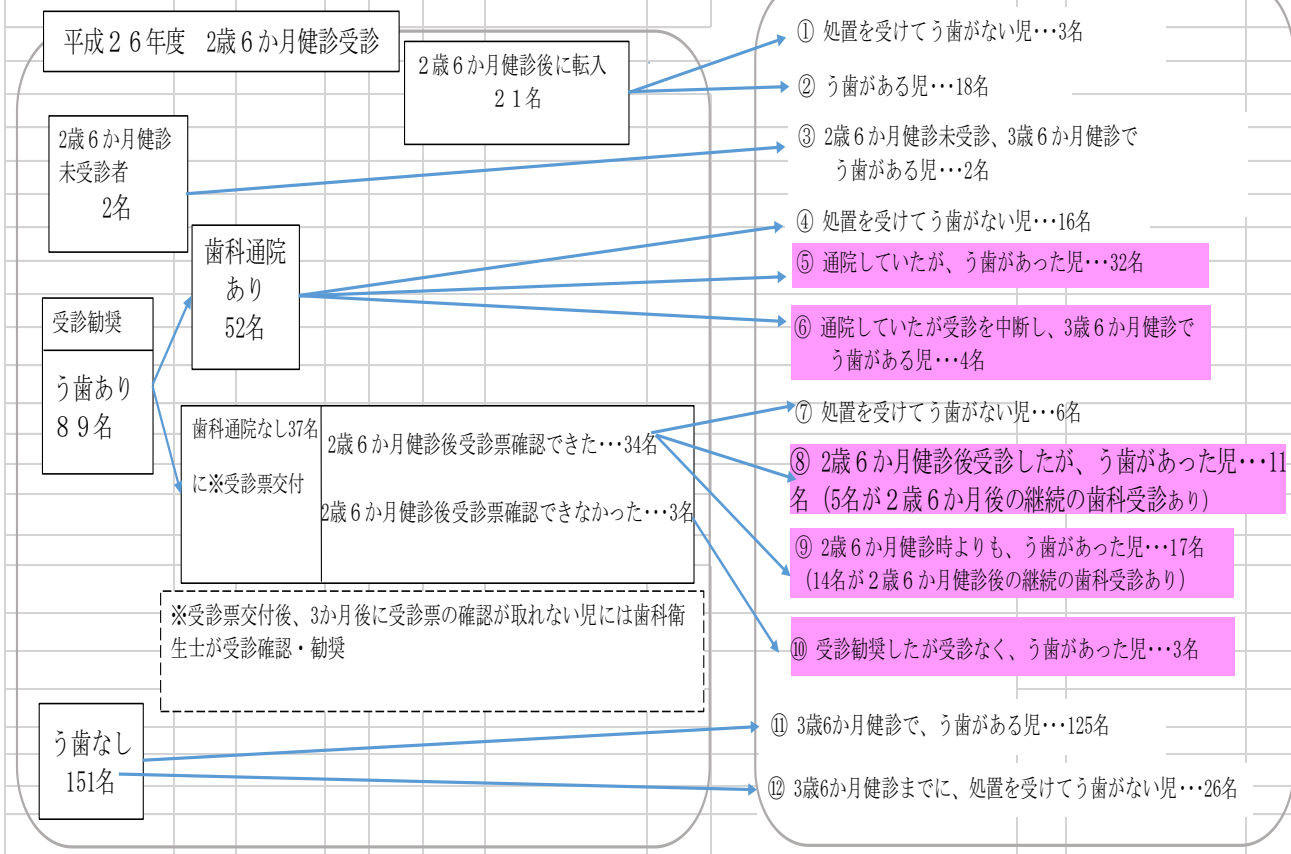
母子保健における歯科の取り組み状況

健康くさつ21
目標 10.00%

時期	内容
妊娠届出時	・妊婦歯科健診啓発チラシの配布と受診勧奨
10か月健診	・歯科衛生士との個別相談（希望者のみ） ・ブラッシングに関するチラシ配布 ・ロビーでブラッシングに関するDVD上映
1歳6か月健診	・歯科健診、フッ化物塗布 ・歯科衛生士との個別相談（希望者、質問項目内容で気になる人、う歯のある人） ・歯磨きと食事に関するチラシ配布 ・ロビーでブラッシングに関するDVD上映
2歳6か月健診	・歯科健診、フッ化物塗布 ・歯科衛生士との個別相談（希望者、質問項目内容で気になる人、う歯のある人） ・う歯のある児へ受診勧奨の紹介状を渡し、治療状況の確認 ・歯の生え方とおやつに関するチラシ配布
3歳6か月健診	・歯科健診、フッ化物塗布 ・歯科衛生士との個別相談（希望者、質問項目内容で気になる人、う歯のある人） ・口の健康づくりに関するチラシ配布 ・ロビーで健康推進員によるおやつ啓発活動
その他	・親子の歯の健康デー ・フッ化物洗口推進事業（幼稚園・保育所） ・歯科健康教育（つどいの広場、幼稚園・保育所） ・かむカムフェスタ ・健康推進員による歯科啓発事業（まちづくりセンター、幼稚園・保育所）

平成27年度 3歳6か月健診における歯科健診（聞き取りによる集計）

3歳6か月健診受診時にう歯あり・う歯の処置歴のある児 263名について



3歳6か月健診の間診項目の集計（⑤、⑥、⑧、⑨、⑩グループ）

・2歳6か月健診の結果う歯があったのは89名中52名が歯科通院をしている。歯科通院をしていない37名は歯科受診票を渡し、3か月後に受診票を確認できなかった児には歯科衛生士から受診確認と勧奨を行っている。⑤、⑥、⑧、⑨は歯科受診につながったがう歯があった。また、⑩の3名は歯科衛生士の勧奨後も受診がなく、3歳6か月健診でも受診につながっていなかった。

⑩グループ個別の傾向

- ・祖父母が児の好むものを与えている傾向にある。祖父母との関わりを聞いて指導につなげる必要がある。
- ・甘いものを口にする頻度が高くダラダラ食べになっている。間食の内容や回数について早い段階で指導していく。
- ・哺乳瓶の使用がう歯のリスクになっている。
- ・仕上げ磨きをしても、う歯になっている児がいるため、仕上げ磨きのやり方を確認し指導する。
- ・乳歯のう歯を放置しておく、生えかわる永久歯に影響することを保護者に知ってもらい、歯科医院へ受診をしているか、定期的なフォローができていくか等個別的に見ていく必要がある。